

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

熊本県 大津町

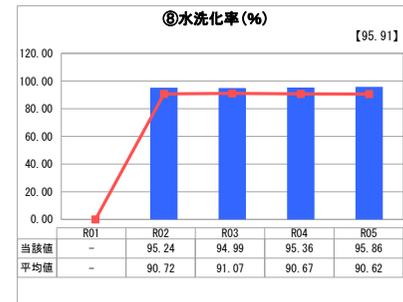
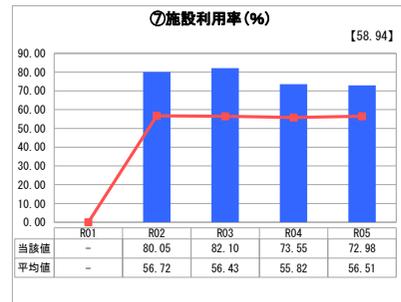
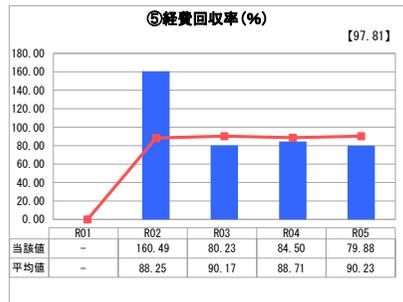
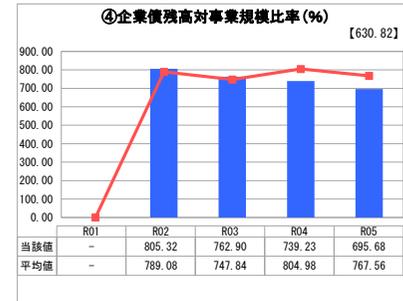
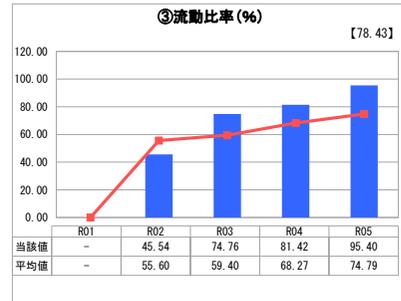
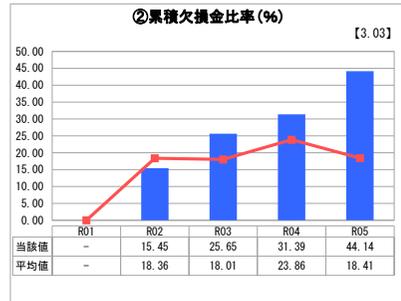
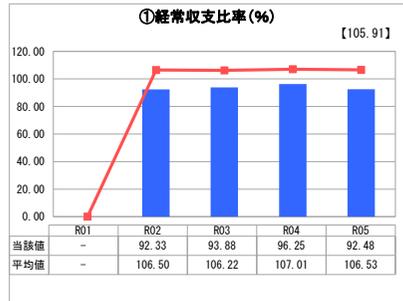
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	71.96	77.55	100.00	2,200

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36,013	99.10	363.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,877	7.29	3,824.01

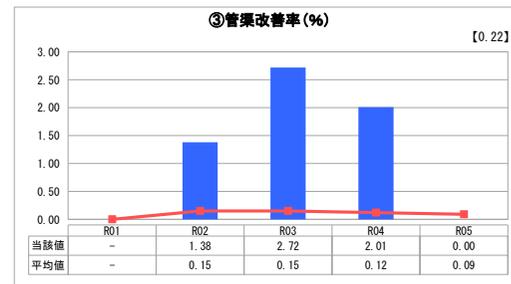
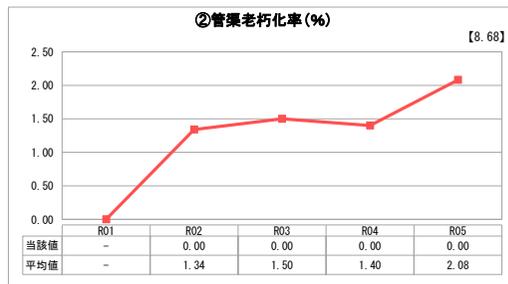
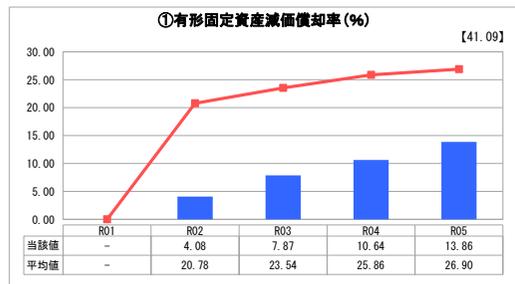
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率、⑤ 経費回収率

経常収支比率は類団と比較して低く92.48%であり、経費回収率も79.88%と賸していない。

令和6年4月使用分から使用料を15%値上げしており、今後の経営改善が見込まれる。

③ 流動比率  
短期的な債務に対する支払能力が類団より21ポイント程度高い状況。100%を下回っている要因は償還元金であるが、翌年度に一般会計出資金で補填している。

④ 企業債残高対事業規模比率  
類団比較で72ポイント程度低い状況であり、今後も注視していく。

⑥ 汚水処理原価

類似団体との比較では23円程度低くなっているが、前年比で9円高くなっている。これは令和5年度から水処理施設3系目を供用開始したことにより、維持管理費や減価償却費が増加したことが主な要因である。今後も継続して経費削減や接続率の向上に努める。

⑦ 施設利用率  
今後、処理水量の増加を見込んでおり、令和7年度から4系目の増設増強工事を実施予定である。

⑧ 水洗化率  
水洗化率は0.5ポイントの増加になっている。公共水域の水質安全に向けて、引き続き未接続世帯への戸別訪問等により水洗化率向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

定期的に点検調査を行い、令和元年度に策定したストックマネジメント計画による、緊急性等の優先順位に基づき効率的な老朽化対策を行い、安心・安全の確保に努める。

## 全体総括

維持管理と改築更新、経営の効率化と健全化を図るため、令和2年度から公営企業会計に移行し、経営状況の明確化が図られている。

今後は、更なる経費削減及び更新投資等に充てる財源確保に資するため、引き続き包括的民間委託を継続し、戸別訪問による水洗化率の向上に努める。

また、令和6年4月使用分から平均15%の料金値上げを実施したが、令和6年度中に見直すこととしている「下水道事業経営戦略」において、今後10年間の収支計画を見直し、適正な料金体系を構築し、効率的で健全な経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。